スクールソーシャルワーク実践スタンダード
第２版の完成報告　／　学習会

ようやく第２版が出来上がりました！
皆様に第２版の完成を報告すると同時に、
「スタンダード」に初めて触れる方にも分かるように、
「スタンダード」の解説及び演習を行います。

これまでたくさんのスクールソーシャルワーカーの皆さんが、自己研鑽のために、また、自治体での研修に、「スタンダード」を活用してくださいました。
近年、ソーシャルワーク国際定義の改訂およびそれに伴うソーシャルワーカーの倫理綱領の改訂、児童福祉法の改正、生徒指導提要の改訂、子ども基本法の制定等が行われたことを受け、「スタンダード」を改訂しました。

当日、冊子を無料配布いたします。オンライン参加の方には PDF ファイルを提供します。

日時：12 月 26 日１３：００～１６：３０

場所：NLC 新御堂ビル 601 号室

大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-24　東三国駅（大阪市営地下鉄御堂筋線）徒歩 3 分

参加費：無料

申し込み方法：　https://forms.office.com/r/fQdXvKB93s

上記 URL または右上の QR コードにアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。
12 月 23 日で申し込みを締め切ります。
オンライン参加は 30 名を定員とします。できる限り会場での参加をお願いいたします。
オンライン参加は、人数上限に達した時点で申し込みを締め切ります。

講師：関西学院大学人間福祉学部教授　馬場幸子

お問い合わせは、馬場幸子（sbamba@kwansei.ac.jp）にお願いします。

＊ご参加をキャンセルされる際は、可能な限り前日までにその旨馬場までご連絡ください。円滑な運営のため、ご協力お願いいたします。

＊個人で運営しているため、会の開催には皆様のご理解とご協力が必要です。

＊申し込んだのに ZOOM の URL が届かないなど、問い合わせ事項が生じた場合には、できる限り開催日前日までにお知らせください。当日直前および開始後のメール確認はできない場合があります。

学習会の内容：

- 改訂のポイントを解説
- 「スタンダード」の内容を詳細解説
- 参加者は、解説を聞きながら一項目ずつ、どの程度実践できているかを自己評価。
- 小グループに分かれ、ディスカッション。
- 参加者は、各自目標設定を行い、改めてグループでディスカッション。

今年度のこれまでの実践のふり返りと、年度末へ向けての課題の確認に、
また、自治体 SSW 活用事業の研修プログラムとして、
ぜひ改訂版「スタンダード」をご活用ください。

スクールソーシャルワーク実践スタンダードには、
SSW は何を大切にするのか、SSW はどう行動するべきかが書かれています。
「スタンダード」が目指すものは、SSW の専門性の向上です。

Standard 1 倫理と価値	Standard 8 コンサルテーション
Standard 2 権利擁護とエンパワメント	Standard 9 意思決定と実践評価
Standard 3 多様性の尊重と社会的包摂	Standard 10 学校理解
Standard 4 専門性の発揮	Standard 11 専門性の向上
Standard 5 アセスメント	Standard 12 記録
Standard 6 計画と実施	Standard 13 仕事量の管理
Standard 7 連携	

本学習会は、日本学術振興会科学研究費基盤研究 C「自治体スーパービジョン用 SSW 実践スタンダード活用マニュアルの開発」（代表：馬場幸子）の一環として行われます。

「スタンダード」関連の出版物：

馬場幸子(2020)『スクールソーシャルワーク実践スタンダード　―実践の質を保証するためのガイドライン―』　明石書店

馬場幸子・澁谷昌史(2021)「『SSWスタンダード学習会』継続参加者による『スタンダード』活用の方法、意義と効果 ―スクールソーシャルワーカーへのインタビューより―」『社会福祉学』　Vol.61-(4) pp.1-13.

馬場幸子・望月彰・高石啓人・鈴木庸裕（2019)「スクールソーシャルワーク実践スタンダードを用いた学習会とスクールソーシャルワーカーの課題意識」『学校ソーシャルワーク研究』第14号　pp. 2-14.